

イギリス人作家E・M・フォースターおよびアングロ・アイリッシュ作家エリザベス・ボウエンの作品研究

柴田学園大学 こども発達学科

杉本久美子

TEL 0172-33-2289

FAX 0172-33-2486

顔写真等  
(希望者のみ)

e-mail k-sugimoto@shibata.ac.jp

キーワード

イギリス文学 (20 世紀) E・M・フォースターの作品研究

アングロ・アイリッシュ文学 エリザベス・ボウエンの作品研究

専門とする研究分野は主に 20 世紀のイギリス文学、作家はE・M・フォースター (1879-1970) やエリザベス・ボウエン (1897-1973) の作品を研究しています。

フォースターやボウエンは同じくイギリス人作家のジェイン・オースティン(1775-1817) の影響を受けています。オースティンの作品は 18 世紀イギリスの、中流階級の平凡な人々の日常生活を舞台とし、登場人物たちが暮らす土地や地域社会のありよう、そしてそこでの人間関係を描いています。他人との関係の中で描きだされる主人公の心理的葛藤や成長、また主人公を取り巻く人々がもつ様々な側面を主なテーマとして描いています。

同じようなテーマでフォースターはイギリスを主な舞台とし上流中産階級の人々に焦点をあて、ボウエンはイギリスや故郷のアイランドを舞台とし、同じく中産階級ないしはアングロ・アイリッシュと呼ばれたアイランドの支配者層の末裔の様子を作品を書いています。フォースターは 20 世紀のイギリス、イギリスが大英帝国と呼ばれ、世界各地に植民地をもち栄光と栄華を誇ったヴィクトリア朝が終わりを告げた後の、混迷していくイギリス社会で生きる個人に着目し、個人同士の結びつきや個人のつながりによって支えられる社会を理想とする作品を描いています。

ボウエンはさらに第一次世界大戦後の、さらに混迷を深めたイギリスやアイランドを舞台とし、無垢で将来の確定していないヒロインたちが恋愛や大人たちとの交流を通して、自己や大人の社会と対峙していくさまを描いています。

作品研究では、主に登場人物たちの心理的葛藤や成長の意味、その描写を支える他の構成要素の意義について注目し、作品研究を行っています。